

農用地域見直し業務にシステムを活用した事例を紹介します。

(1/2)

活用する団体： 市町村

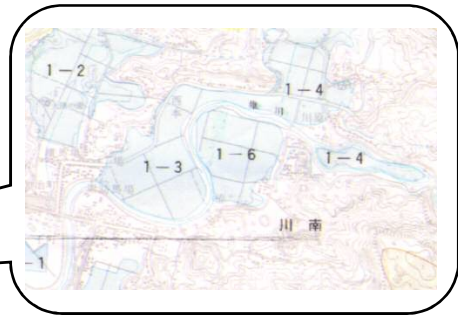
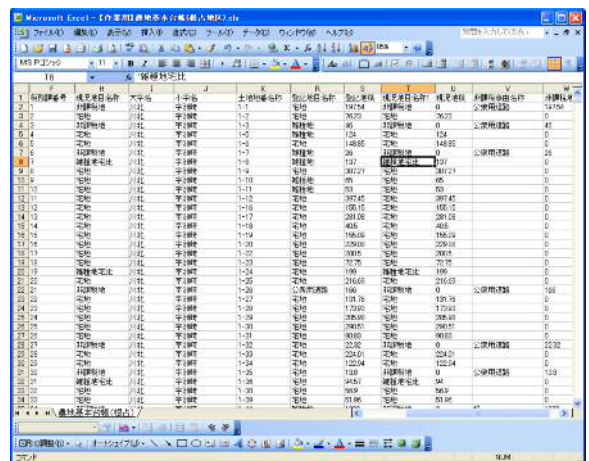
取組概要

内容：農業振興地域・農用地域の見直し作業において、現在設定中の農用地域が現在の現況(オルソ画像)との現状を視覚的に把握し、今後の農用地域の設定に活用している。また、農用地域内の農地地番リストの作成に活用している。

経緯：①従来、町全域の見直しとなるとどうしても大縮尺のおおまかな紙媒体の図面(地形図)で区域を設定するという作業を行わざるをえなかった。
②農用地域に設定する基礎となる、市町村で整理したExcel等の台帳を水土里情報システムに取り込むことで、台帳地番とオルソ画像との農地のチェックも可能となった。



従来の紙媒体の土地利用計画図

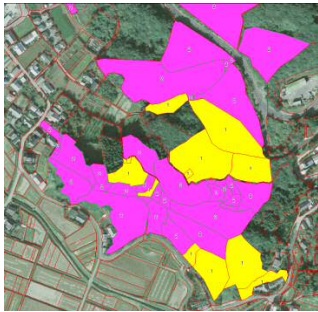
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1	1-1	1-1-1	1-1-1-1	1-1-1-1-1	1-1-1-1-1-1	1-1-1-1-1-1-1	1-1-1-1-1-1-1-1	1-1-1-1-1-1-1-1-1	1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1

Excelで整理された土地台帳

期待される効果

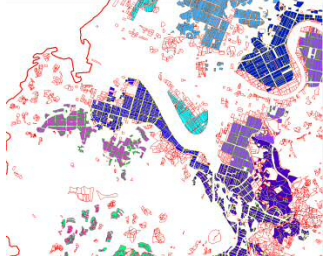
- ①農用地区域見直し時に現況をオルソ画像で判断出来るため、混住化や山林化の進行状況を視覚的に把握し、見直しが適切かつ効果的に実施できる。
- ②農用地区域内の地番リストもシステムで農地筆情報を検索し、結果をExcelに出力することができるため、チェック作業や修正作業が容易に行える。

・宅地化や現況地目による農用地除外・編入の区域を一筆単位で着色や区分することが可能。

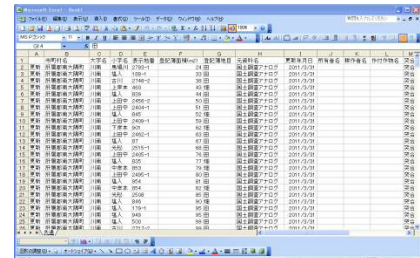


① 01人・農地川北
② 02人・農地川南

・土地利用計画図における地区ごとの着色や面積の算定も可能。



・検索条件で抽出したデータをExcelに出力し、帳票の作成・集計等が可能。



地番	筆種	面積	所有者	取得年月	備考
001	農用地	1000	田中太郎	2017/12/31	
002	農用地	2000	山田花子	2017/12/31	
003	農用地	3000	鈴木一郎	2017/12/31	
004	農用地	4000	佐藤美咲	2017/12/31	
005	農用地	5000	高橋健太	2017/12/31	
006	農用地	6000	渡辺真由美	2017/12/31	
007	農用地	7000	中村大輔	2017/12/31	
008	農用地	8000	小林千尋	2017/12/31	
009	農用地	9000	伊藤拓也	2017/12/31	
010	農用地	10000	清水由香	2017/12/31	

今後の活用予定

GISにより一筆単位で管理を行っていくことが可能であり、今後は区域の再設定・修正等を随時システムで行っていく予定。

利用者の声

区域の見直し作業において、変更作業が航空写真にて混住化や荒廃状況の現状を把握する事により精度の向上と作業効率が十分に期待できる。